



各位

上場会社名 株式会社 NFKホールディングス
 代表者 代表取締役社長 関口 陽介
 (コード番号 6494)
 問合せ先責任者 取締役 清見 義明
 (TEL 045-575-8000)

業績予想の修正および配当予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、配当予想につきましても下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,074	△346	△338	△310	△10.46
今回修正予想(B)	2,068	△278	△267	△231	△7.81
増減額(B-A)	△5	67	70	78	
増減率(%)	△0.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	2,640	△61	△46	△86	△2.91

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	286	33	47	72	2.46
今回修正予想(B)	278	27	39	63	2.15
増減額(B-A)	△7	△5	△7	△8	
増減率(%)	△2.5	△16.7	△16.0	△11.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	309	△16	△9	△93	△3.17

修正の理由

1. 平成23年3月期 連結業績予想との差異について

平成23年3月期の通期連結業績につきましては、売上高が前回予想を僅かに下回る20億6千8百万円となりました。営業利益、経常利益につきましては積極的な収益改善の諸施策の成果により、総コストの削減が想定以上となったこと、また、厳格な工程管理の徹底などによりクレーム関連の支出が大幅に削減できたことなどから、損失額は縮小し、それぞれ2億7千8百万円、2億6千7百万円の損失となりました。これらの結果、当期純利益は2億3千1百万円の損失となり、損失額は前回予想より7千8百万円縮小いたしました。

2. 平成23年3月期 個別業績予想との差異について

平成23年3月期の通期個別業績につきましては、売上高が前回の予想を7百万円下回る2億7千8百万円となりました。営業利益、経常利益につきましては、臨時株主総会開催等により支払手数料や通信費等が想定を上回ったことなどから、それぞれ前回予想を下回る2千7百万円および3千9百万円となりました。当期純利益につきましては、連結子会社である日本ファーマスが大幅な赤字となったことなどから、連結納税における子会社帰属額が1千万円発生したため、前回の予想を下回る6千3百万円となりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月14日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (平成22年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社グループでは、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題の一つに位置づけ、事業発展のための設備投資、研究開発投資等を機動的に行うための財務基盤を構築すべく株主資本の充実を図りながら、収益動向や有利子負債の残高を考慮し、事業の成長とのバランスに配慮した利益配分を行うことを方針といたしております。

当連結会計年度につきましては、業績の向上に鋭意努力してまいりましたが、当期純損失の計上を余儀なくされることとなったため、未定とさせていただいておりました配当は、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。今後の配当につきましても、業績の回復、収益力の向上に全社一丸となって鋭意努力して安定的な黒字化を実現し、早期に復配が行えるように注力してまいります。

以上